

行政改革推進本部結果

(議題) 指定管理者候補の選定について

平成27年 9 月

1 指定管理者候補の選定について

行政改革推進本部において、政策局、環境農政局、保健福祉局、産業労働局及び県土整備局が設置する外部評価委員会の評価を踏まえ、宮ヶ瀬湖周辺施設など6募集単位の指定管理者候補を選定した。

なお、教育局所管の施設については、教育委員会が指定管理者候補を選定するため、行政改革推進本部において、教育局指定管理者選定会議の審査結果の確認を行った。

2 行政改革推進本部の開催状況

(1) 構成員

知事、副知事、政策局長、総務局長、環境農政局長、保健福祉局長、産業労働局長、教育長、教育局長等

(2) 説明者

政策局長、環境農政局長、保健福祉局長、産業労働局長、教育長、教育局長及び事務局（行政管理課長）

(3) 陪席者

政策局副局長、総務局副局長、政策部長、組織人材部長、財政部長、土地水資源対策課水政室長、自然環境保全課長、森林再生課長、水産振興担当課長、県立病院課長、労政福祉課長、子ども教育支援課長、スポーツ課長等

(4) 開催日

平成27年8月19日（水）

(参考) 行政改革推進本部までの選定経過

外部評価委員会

・ 構成員

有識者等 5 名 (原則として、学識経験者、経理に識見を有する者、法務に識見を有する者、公の施設の事業内容に精通した者、施設利用者代表等から選任。なお、宮ヶ瀬湖周辺施設指定管理者外部評価委員会は 7 名で構成)

・ 開催状況

局名	施設名	外部評価委員会名称	開催回数	開催日
政策局・環境農政局・教育局	宮ヶ瀬やまなみセンター、宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地並びに宮ヶ瀬湖カヌー場	宮ヶ瀬湖周辺施設指定管理者外部評価委員会	3 回	・ 10月23日 (木) ・ 3月23日 (月) ・ 7月29日 (水)
環境農政局	21世紀の森	神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会	2 回	・ 10月24日 (金) ・ 7月14日 (火)
	(三崎漁港) ・ 本港特別泊地及び本港環境整備施設 ・ 宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設	神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会	2 回	・ 10月15日 (水) ・ 7月15日 (水)
福祉局 保健	神奈川県総合リハビリテーションセンター	神奈川県総合リハビリテーションセンター指定管理者評価委員会	2 回	・ 6月4日 (木) ・ 7月28日 (火)
労働局 産業	かながわ労働プラザ	神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会	3 回	・ 10月17日 (金) ・ 6月26日 (金) ・ 7月14日 (火)
教育局	足柄ふれあいの村、愛川ふれあいの村	神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会	3 回	・ 10月15日 (水) ・ 6月8日 (月) ・ 7月1日 (水)

・ 外部評価の状況

申請団体から提出された申請書について、選定基準に沿って書面評価及び面接評価を行った。

教育局指定管理者選定会議 (教育委員会所管施設のみ)

・ 構成員

教育長、教育局長、県立高校改革担当局長、教育監、副局長、総務室長、行政部長、行政課長、財務課長

・ 開催状況

平成27年 8月6日 (木)

・ 審査状況

宮ヶ瀬湖周辺施設指定管理者外部評価委員会及び神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会の評価結果をもとに、施設設置者の立場から指定管理者候補の選定を行った (参考資料)

3 行政改革推進本部における選定結果

施設番号 1 : 宮ヶ瀬やまなみセンター、宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地並びに宮ヶ瀬湖カヌー場

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
選定理由	<p>宮ヶ瀬湖周辺施設指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の提案は、外部評価委員会の評価のとおり、宮ヶ瀬湖周辺地域固有の経過や課題に対し、3施設を一体とした指定管理業務の総合的な運営方針を定め、周辺地域全体の活性化に向けた考え方が示され、評価できると考えられる。</p> <p>「管理経費の節減等」について、評価点が「5点」となっているが、当施設はこれまで当財団に管理を委託しており、指定管理料の積算のベースとした個々の施設の管理委託費は、この10年間で既に約25%の節減を図っていること、また、3施設を一体的に管理することによる節減も反映した積算としていることなど、積算価格が既に相当な節減効果を見込んでいることによるものであり、実質的な節減が図られている。</p> <p>更に、当財団では、自らの設立経緯や役割を踏まえ、自主財源を投入して周辺地域の振興と活性化に向けた事業の充実を図ることとしており、これも節減効果とみることができる。</p> <p>以上のことから、「管理経費の節減等」の項目について、評価点は低いが、実質的な節減が行われていると評価でき、その他の項目についても必要な評価を得ていることから、本件指定管理の目的の達成が可能である。</p>

(2) 宮ヶ瀬湖周辺施設指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 (愛甲郡清川村)	40	5	17	62

(3) 行政改革推進本部における選定結果及び教育局の選定結果に対する同本部の確認

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を指定管理者候補として選定する。

施設番号 2 : 21 世紀の森

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	株式会社足柄グリーンサービス
選定理由	<p>神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>第1順位の株式会社足柄グリーンサービスの提案は、外部評価委員会の評価どおり、「サービスの向上」のうち「利用促進のための実施方針」の項目で当該地域の複数の指定管理業務を担っている強みを活かした広報・PR戦略による利用促進を図るとともに、当施設が県の施策である「未病いやしの里の駅」の「森の駅」として登録されたことから、地域と連携しながら県民が気軽に森林浴を楽しめる施設としての取組は評価できる。</p> <p>「管理経費の節減等」について、日常清掃などは直接職員が行い、専門技術を要する業務等は外部委託するなど、全体的に管理経費の節減を図っている。</p> <p>第2順位の住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所の提案は、「サービスの向上」のうち「利用促進のための実施方針」の項目や「団体の業務遂行能力」のうち「これまでの管理実績」の項目で、集客のためのPR方法や他地域における今までの森林に関するソフトウェア事業の実績などは評価できる。</p> <p>「管理経費の節減等」について、高度な専門性が必要な業務以外の園内管理は自社スタッフにより対応するなど、全体的に管理経費の節減を図っている。</p> <p>一方、「サービスの向上」のうち、「自主事業の実施」の項目については県立21世紀の森の設置目的や県政の取組などを考慮し、地域や施設の特性を活かした県民利用の促進を図る視点が不足しており、また「緊急時の対応」については2社の役割分担が明確でないなど、第1順位の株式会社足柄グリーンサービスに及ばない。</p>

(2) 神奈川県立21世紀の森指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	株式会社足柄グリーンサービス (南足柄市)	43	30	16	89
2	住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所 (東京都中野区)	36	30	16	82

(3) 行政改革推進本部における選定結果

株式会社足柄グリーンサービスを指定管理者候補として選定する。

施設番号 3 : (三崎漁港) 本港特別泊地及び本港環境整備施設

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社
選定理由	<p>神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社の提案は外部評価委員会の評価どおり、「サービスの向上」では、特にマリーナ事業の管理能力が高く、事故や災害時の安全対策、地域振興でも高く評価できる。</p> <p>「管理経費の節減等」について、一般管理費で節減努力したことが評価できる。</p> <p>また、「団体の業務遂行能力」では、株式会社三浦海業公社、スバル興業株式会社はそれぞれ当施設の第1期、第2期の指定管理者として指定管理業務を適正に実施した実績を持っている。</p> <p>スバル興業株式会社はマリーナ事業の管理能力、安全管理能力が非常に高く、また、地域振興に対する取組姿勢も評価できる。また、株式会社三浦海業公社は地域振興や地元とのコミュニケーション能力が高く評価できる。そこで、両法人がグループとして指定管理を実施することで、施設のより効率的な運営及び施設を活用した地域振興が可能と考えられる。</p>

(2) 神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名(所在地)	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社 (東京都千代田区)	41	30	16	87

(3) 行政改革推進本部における選定結果

スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社を指定管理者候補として選定する。

施設番号 4 : (三崎漁港) 宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	みうら漁業協同組合
選定理由	<p>神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>みうら漁業協同組合の提案は外部評価委員会の評価どおり、「管理経費の節減等」について、一般管理費で節減努力したことが評価できる。また、「サービスの向上」の地元関係団体との連携、協力及び「団体の業務遂行能力」の関係団体との調整力では良好な評価が得られ、この点も評価できる。</p> <p>また、みうら漁業協同組合は当施設の第 1 期及び第 2 期の指定管理者として業務を適正に実施した実績を持つとともに、施設運営に関して地元漁業者及び住民と調整する能力に長けている。</p>

(2) 神奈川県漁港施設指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名(所在地)	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	みうら漁業協同組合 (三浦市)	37	14	15	66

(3) 行政改革推進本部における選定結果

みうら漁業協同組合を指定管理者候補として選定する。

施設番号5：神奈川県総合リハビリテーションセンター

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団
選定理由	<p>神奈川県総合リハビリテーションセンター指定管理者評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団の提案は、評価委員会の評価どおり、「サービスの向上」について、先進的なリハビリテーションセンターとしての専門性の高い利用者支援の実績や、利用者サービスの向上のほか、安全管理への取組、積極的なボランティアの受入などが高く評価できる。</p> <p>また、県立のリハビリテーションセンターとして、重度・重複を伴う脳血管疾患、合併症を抱える障害者に対する医療など、高度な専門技術やノウハウによる利用者サービスを、引き続き実施していくことができると考えられる。さらに、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団は、県の推進する「さがみロボット産業特区」において、実証実験を行うなど、県の重要施策に対して貢献している点も評価できる。</p> <p>「管理経費の節減等」について、評価点が「5点」となっているが、既に、これまでの現指定管理期間（平成18年度～平成27年度）に給与制度の見直し等を実施した結果、指定管理料について約30%の節減が図られている。</p> <p>また、利用者サービスの充実を図るため診療報酬で算定されない職種を配置するなどしており、支出額の60%以上を人件費が占めるという施設特性を考慮すると、これ以上の管理経費の節減は、利用者サービスへ影響が及ぶものと思われる。なお、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団からは、県が提示した金額から約9,200万円節減した指定管理料が提案されるという努力も見られた。</p> <p>なお、評価委員から努力を求めるとされた利用者確保や、財務状況改善に向けた取組については、再整備される新福祉棟（平成28年6月）及び新病院棟（平成29年12月）を最大限活用した具体的かつ積極的な取組を、保健福祉局として求めるものとする。</p>

(2) 神奈川県総合リハビリテーションセンター指定管理者評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団（厚木市）	42	5	15	62

(3) 行政改革推進本部における選定結果

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団を指定管理者候補として選定する。

施設番号6：かながわ労働プラザ

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	公益財団法人神奈川県労働福祉協会
選定理由	<p>神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>「サービスの向上」のうち、「利用促進のための取組」の項目について、SNSを利用して情報発信を行うLプラザコミュニティサイトの開設など「より多くの利用を図るために行う施設全体の広報・PR活動」が評価できる。</p> <p>また、1階労働情報コーナーにおける県立図書館所蔵図書の貸出サービスの実施や、利用率の低調が懸念されている「特別会議室」「音楽スタジオ」「トレーニングルーム」「ギャラリー」の4つの施設について、新たな割引料金設定によるサービスプランの実施など、利用率向上のための改善案が提案されており、評価できる。</p> <p>「利用者への対応」の項目について、4階貸会議室フロアに新たに鍵貸出受付カウンターを設置するなど利用者ニーズに対応している。</p> <p>「管理経費の節減等」のうち、「節減努力等」の項目について、評価点が「5点」と低くなっているが、本施設は、県が指定管理者に指定管理料を支払う施設ではなく、利用料金などの収入の中から指定管理者が県に納付金を納める施設であり、今回の第3期の提案では、各種サービスプランの設定などにより収入増を図るとともに、照明器具のLED化による電気使用量の節減、清掃・警備業務の複数年契約化により経費を節減し、最低納付金175万円を上回る納付金270万円を納める提案がされているので評価できる。</p> <p>「団体の業務遂行能力」のうち、「これまでの実績」の項目について、平成7年のかながわ労働プラザ開設以来、今日まで安定した管理運営を続け、利用人員も指定管理者制度導入前の平成17年度の24万人から平成26年度は38万人へと増加している。</p>

(2) 神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	公益財団法人神奈川県労働福祉協会 (横浜市)	38	10	14	62

(3) 行政改革推進本部における選定結果

公益財団法人神奈川県労働福祉協会を指定管理者候補として選定する。

施設番号7：足柄ふれあいの村

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	足柄グリーンサービス・関東学院グループ
選定理由	<p>神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>第1順位の足柄グリーンサービス・関東学院グループの提案は、外部評価委員会の評価どおり、関東学院大学が持つ人材やノウハウを活用し、自然体験活動事業を実施するとともに、周辺施設と連携して「未病を治す」プロジェクトにも取り組むなど、「サービスの向上」の項目について、高く評価できる。</p> <p>また、指定管理3期目にもかかわらず、委託費で大幅な経費節減の努力が認められるとともに、利用料金の収入増を見込んでいることから、「管理経費の節減等」の項目について、高く評価できる。</p> <p>なお、夜間警備業務については、現在、再委託により実施しているところを、直営により実施する事業計画となっているが、他の施設での警備業務の実績が確認できること、有資格者による職員研修が実施されること、緊急時のバックアップ体制が確立されていることなどから、再委託による夜間警備と同等の安全性が確保できると考えられる。</p> <p>第2順位の公益財団法人横浜YMCAの提案は、一般管理費や委託費などで経費節減の努力が認められるとともに、利用料金の収入増を見込んでいることから、「管理経費の節減等」の項目について、高く評価できる。</p> <p>一方「サービスの向上」の項目については、既に同地域で他の施設の運営を手がけており地域との協力体制を構築し具体的なサービスを提案している足柄グリーンサービス・関東学院グループに及ばない。また、施設内の樹木管理などの環境整備についても、自前のノウハウを持つ足柄グリーンサービス・関東学院グループに及ばない。</p> <p>第3順位のアクティオ株式会社の提案は、「サービスの向上」及び「団体の業務遂行能力」の項目については高く評価できる。</p> <p>一方「管理経費の節減等」の項目では、光熱水費や賃借料などで経費節減の努力が見られるが、他の提案者に及ばない。</p>

(2) 神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名（所在地）	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	足柄グリーンサービス・関東学院グループ (南足柄市)	41	30	14	85
2	公益財団法人横浜YMCA (横浜市)	37	30	15	82
3	アクティオ株式会社 (東京都目黒区)	40	15	17	72

(3) 教育局の選定結果に対する行政改革推進本部の確認

足柄グリーンサービス・関東学院グループを指定管理者候補として選定する。

施設番号 8 : 愛川ふれあいの村

(1) 指定管理者候補選定理由

指定管理者候補	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ
選定理由	<p>神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会での評価結果を確認したところ、選定基準に沿った適切な評価が行われている。</p> <p>東急コミュニティー・国際自然大学校グループの提案は、外部評価委員会の評価どおり、現指定管理者としてのこれまでの実績を踏まえ「サービスの向上」及び「団体の業務遂行能力」の項目について、高く評価できる。特に、積極的に宿泊棟の雨漏り修繕工事などを実施しており、引き続き計画的に修繕に取り組んでいく姿勢は、高く評価できる。</p> <p>なお、「管理経費の節減等」の項目については、評価点が低くなっているが、積算は適切に行われており、一般管理費の見直しなど節減努力が認められる。</p>

(2) 神奈川県立のふれあいの村指定管理者外部評価委員会の評価点

順位	団体名(所在地)	選定基準大項目別点数			合計点 (100点)
		サービスの向上 (50点)	管理経費の節減等 (30点)	団体の業務遂行能力 (20点)	
1	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ (東京都世田谷区)	41	8	17	66

(3) 教育局の選定結果に対する行政改革推進本部の確認

東急コミュニティー・国際自然大学校グループを指定管理者候補として選定する。

4 議事録（要約）

（黒川副知事）

「指定管理者候補の選定について」、事務局から説明をお願いします。

（行政管理課長）

9月の第3回定例会の議案となる平成28年4月からの指定管理者候補の選定についてご審議いただきます。

今回の選定対象は8募集単位で、2つは非公募、その他は公募です。

今回、8つとも60点の最低基準点を下回る評価はありませんでしたが、評価項目のうち管理経費の節減について、宮ヶ瀬湖周辺施設など3つで一桁の得点となっています。

経費節減の評価については、改めてその積算方法や評価手法について議論したいと考えています。

それでは、各施設について、外部評価委員会での評価と局意見について、概要をご説明します。

宮ヶ瀬やまなみセンター、宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地並びに宮ヶ瀬湖カヌー場からなる宮ヶ瀬湖周辺施設は、指定管理者候補の評価結果のとおり、3施設の一体的な運営による事業提案や、地域全体の活性化につながる提案などを評価いただいております。

政策局、環境農政局及び教育局としては、外部評価委員会の評価のとおり、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団を指定管理者候補としたいというものです。

21世紀の森は、今回、2者から応募があり点数が高かったのは現在の指定管理者である株式会社足柄グリーンサービスです。当該地域の複数施設の管理業務を担っている強みを活かした広報・PR戦略による利用促進や、「未病いやしの里の駅」登録施設として、地域と連携しながら県民が気軽に森林浴を楽しむためのサービスの向上に向けた取組などを評価いただいております。

環境農政局としては、外部評価委員会の評価のとおり、株式会社足柄グリーンサービスを指定管理者候補としたいというものです。

三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設は、現在の指定管理者は、スバル興業株式会社ですが、今回、スバル興業と三浦海業公社の2法人協同で応募がありました。外部評価委員会では、船の受入業務にプラスして、イベントに共同して取り組むなど地域の活性化に重点を置く計画となっていることや、3つ目の丸にありますとおり、災害という事故防止の観点が充実していることなどを評価いただいております。

環境農政局としては、外部評価委員会の評価のとおり、スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社を指定管理者候補としたいというものです。

三崎漁港宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設は、施設運営に関して地元漁業者及び住民と調整する能力に長けていることなどを評価いただいております。

環境農政局としては、外部評価委員会の評価のとおり、みうら漁業協同組合を指定管理者候補としたいというものです。

神奈川県総合リハビリテーションセンターは、先進的なりハビリテーションセンターとして、民間の病院や福祉施設では対応が難しい重度・重複障害者をはじめとする利用者に対して、専門性の高い支援を実施してきた実績などを評価いただいております。

保健福祉局としては、外部評価委員会の評価のとおり、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団を指定管理者候補としたいというものです。

かながわ労働プラザは、1階労働情報コーナーにおける県立図書館所蔵図書の貸出しサービスの実施や、SNSを利用して情報発信を行うサイトの開設など、新しい事業に前向きに取り組む姿勢などを評価いただいております。

産業労働局としては、外部評価委員会の評価のとおり、公益財団法人神奈川県労働福祉協会を指定管理者候補としたいというものです。

足柄ふれあいの村は、現在の指定管理者は、アクティオ株式会社ですが、今回は、3者から応募があり、一番点数が高かったのは、足柄グリーンサービスと関東学院のグループです。近隣で指定管理施設の管理運営を行っている経験を活かし、施設の管理や自然体験活動事業の取組など、当施設に求められる視点をよく理解した提案となっていることや、県内に大学、小中高校などを有する関東学院大学がグループパートナーとして参入することは、新たな取組であることなどを評価いただいております。

教育局としては、外部評価委員会の評価のとおり、足柄グリーンサービス・関東学院グループを指定管理者候補としたいというものです。

愛川ふれあいの村は、施設の維持管理に多くの実績を持つ東急コミュニティーと、自然体験活動事業に関するノウハウと人材を持つ国際自然大学校の協力体制が確立されていることによる安定した施設運営などを評価いただいております。

教育局としては、東急コミュニティー・国際自然大学校グループを指定管理者候補としたいというものです。

(黒川副知事)

今の説明につきまして、ご意見、ご質問をお願いします。

(吉川副知事)

管理経費の節減の点数にかなりばらつきがあります。指定管理の更新回数を重ねても満点が出る場合もあるので、点数が低かった場合は、どのような経費節減策が提案されているのか、各局でしっかり説明できるようにしてください。

(総務局長)

いまご指摘のあった管理経費の節減については、点数が高いところもあれば、低いところもあります。例えば宮ヶ瀬湖周辺施設は、これまで宮ヶ瀬ダム周辺振興財団に管理を委託してきましたが、その経費は、この10年間で既に約25%節減しています。

しかしながら、全体として見たときに、非公募だから努力が足りないという印象を抱かれることも想定されますので、しっかりとした説明をお願いします。

総務局といたしましても、管理経費の節減の評価方法等については、様々な課題があると認識をしておりますので、改めて整理します。

(教育長)

管理経費の節減の評価方法については、どれだけ節減するかということと合わせて、どれだけサービスを向上させていくのかという相関の中で見ていくべきです。

指定管理制度の趣旨には、経費の節減だけではなく、民間事業者等のノウハウを活用していかにサービスを向上させるのかということも含まれます。

したがって、管理経費の節減の評価方法を検討する際には、必ずサービスの向上にも目を向けて結論を出していくべきだと思います。

(政策局長)

宮ヶ瀬湖周辺施設ですが、管理経費の節減についてかなり努力をしてもらったという認識です。自主財源を投入してでも地域振興を実施していこうとする提案は、点数には反映されない形での経費の節減だと思います。そのような部分も評価に反映できればと思います。

提案全体では、宮ヶ瀬湖周辺地域固有の経過や課題に対し、3施設を一体とした指定管理業務の総合的な運営方針を定めたいと、周辺地域全体の活性化に向けた考え方が示されており、評価できると考えています。

(環境農政局長)

宮ヶ瀬湖周辺施設の自然公園である園地は、政策局、教育局との一括募集ということで、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団にお願いしたいと考えております。自然公園ですので、自然保護や来場者へのサービスなどにつきましても、財団のこれまで培ってきた経験や自然公園の業務に関する理解が重要と思っております。

21世紀の森ですが、住友林業緑化株式会社・株式会社東京ランドスケープ研究所グループの提案もよかったのですが、足柄グリーンサービスの提案は、地域の特性をよく理解している点で大変強みがありました。特に県の政策をよく理解しており、例えば、未病いやしの里の駅の登録施設として地域と連携したサービス向上に向けた提案もありました。また、管理経費の節減についてですが、日常清掃などは直接職員が行い、専門技術を要する業務等は外部委託するなど、管理経費の節減を図っています。

三崎漁港の本港ですが、これは1期目の指定管理者と2期目の指定管理者が組んだ応募で、地域振興に詳しい三浦海業公社と、マリーナ施設に詳しいスバル興業がそれぞれの強みを活かした運営が期待できます。特にマリーナ事業の管理能力が高く、事故・災害時の安全対策や地域振興も評価できます。

三崎漁港の宮川ですが、みうら漁業協同組合は第1期及び第2期の指定管理者として業務を適正に実施した実績があり、また、施設運営に関して地元漁業者及び住民と調整する能力に長けていることも評価できます。

(保健福祉局長)

神奈川県総合リハビリテーションセンターですが、体育指導員や職業指導員など診療報酬に算定されない職種も配置するなどの経営努力をしています。また、さがみロボット産業特区において実用化されたパワーアシストハンドをはじめ生活支援ロボットの実証実験など、県の重要政策について貢献しています。

今後、28年度には新福祉棟、29年度には新病院棟がオープンしますので、利用者確保や利用者サービスの向上に向けてさらに頑張りたいと思います。

(産業労働局長)

かながわ労働プラザに関しては、「管理経費の節減等」のうち、「節減努力等」の項目について、評価点が25点満点で5点となっています。

本施設は、県が指定管理者に管理経費などの指定管理料を支払うのではなく、利用料金などの収入の中から指定管理者が県に納付金を納めることになっていますので、この納付金の額で評価を行っています。

今回の提案では、室料に割引制度を導入して利用者を増やし、収入増を図るとともに、照明器具のLED化や、清掃・警備業務の複数年契約化により経費を削減し、最低納付金175万円を上回る納付金

270万円を納める提案がされているので評価できると考えています。

(教育局長)

宮ヶ瀬湖周辺施設のカヌー場について、カヌーはあまり一般的でない競技ですが県民が広く利用できるよう、地元のNPO法人と連携して集客増や指導者育成の取組を行います。

次に、足柄ふれあいの村ですが、応募者の足柄グリーンサービスと関東学院のグループは、特に学校利用が多い自然体験について、学生ボランティアを活用できる見込みがあります。

それから、足柄グリーンサービスはすぐ近くで温泉を運営していますので、そことタイアップした未病を治す取組も非常に有望です。

また、管理経費の節減ですが、委託費で大幅な節減努力が認められるとともに、利用料金の収入増を見込んでいることから高く評価しています。

第2順位の横浜YMCAの提案もよかったのですが、地域との協力体制を構築し具体的なサービスを提案している足柄グリーンサービス・関東学院グループに及ばないと考えています。また、施設内の樹木管理などの環境整備についても、自前のノウハウを持つ足柄グリーンサービス・関東学院グループに及ばないと考えています。

第3順位のアクティオ株式会社の提案は、サービスの向上や団体の業務遂行能力の項目については高く評価できますが、管理経費の節減等の項目で、他の提案者に及ばなかったという状況です。

愛川ふれあいの村ですが、大手の東急コミュニティーとNPO法人の国際自然大学校が組んでいます。国際自然大学校は自然体験を手広く、沖縄方面でも展開しておりますので、引き続きお願いしたいと思います。

(黒川副知事)

他にありますか。

(知事)

非公募施設の管理経費の削減の点数が低いです。宮ヶ瀬湖周辺施設の理由は明記されていますが、神奈川県総合リハビリテーションセンターには記載がないので、明記するようにしてください。

(黒川副知事)

他いかがでしょうか。

それでは、各施設の指定管理者候補については、それぞれ原案のとおりとするということでしょうか。

(一同異議なし)

それでは、担当局は指定議案の提出に向けて作業を進めてください。

以上

教育局指定管理者選定会議（平成27年8月6日） 議事録（要約）

（教育長）

教育局が単独募集を行った「足柄ふれあいの村」及び「愛川ふれあいの村」と、政策局及び環境農政局と一括募集を行った「宮ヶ瀬湖周辺施設」の指定管理者候補の選定を行います。選定結果は、行政改革推進本部で確認を受けた後に、平成27年第3回定例会前半に議案として提出します。

初めに、足柄ふれあいの村について、子ども教育支援課から説明をお願いします。

（子ども教育支援課）

足柄ふれあいの村は、現在の指定管理者であるアクティオ株式会社を含む3者から応募がありました。1位の足柄グリーンサービス・関東学院グループは、関東学院が持つ人材やノウハウを活用することにより、自然体験活動事業を実施するとともに、周辺施設と連携して「未病を治す」プロジェクトにも取り組むなどの「サービスの向上」の項目と、「管理経費の節減等」の項目が高く評価されています。

2位の公益財団法人横浜YMCAは、団体のネットワークや豊富な人材を活かした事業展開や、「管理経費の節減等」が評価されますが、足柄ふれあいの村独自の自然体験活動事業の取組内容を具体的に提案してほしかったという意見がありました。

3位のアクティオ株式会社は、安定的な施設運営が見込まれ、不登校対策自然体験活動事業についてもきめ細かな対応の提案が評価されますが、「管理経費の節減等」については他の2団体の提案額に比して節減率が低く、評価点が低くなりました。

（教育局長）

夜間警備業務について、現在の指定管理者は再委託により実施していますが、1位の足柄グリーンサービス・関東学院グループは直営により実施ということですが、これについて説明してください。

（子ども教育支援課）

1位の足柄グリーンサービス・関東学院グループは、夜間警備業務を直営により、短時間勤務職員2名体制で実施する事業計画ですが、他の施設での警備業務の実績が確認できること、有資格者による職員研修が実施されること、緊急時のバックアップ体制が確立されていることなどから、再委託による夜間警備と同等の安全性が確保できると考えられます。

（教育長）

各応募者の人員体制を比較するとどうなりますか。

（子ども教育支援課）

常勤職員と短時間勤務職員の比率や、夜間警備業務の形態により異なりますが、延べ人数で比較したところ、各応募者とも業務に必要な人員は確保されていることを確認しています。

（教育長）

以上の議論を踏まえて、足柄ふれあいの村の指定管理者候補は、足柄グリーンサービス・関東学院グループとします。

(教育長)

次に、愛川ふれあいの村について、子ども教育支援課から説明をお願いします。

(子ども教育支援課)

愛川ふれあいの村は、現在の指定管理者である東急コミュニティー・国際自然大学校グループから応募がありました。施設の維持管理業務に多くの実績を持つ東急コミュニティーと、自然体験活動事業に関するノウハウと人材を持つ国際自然大学校の協力体制が確立されており、引き続き安定した施設運営と、児童・生徒の自然体験活動への支援について期待できること、積極的に修繕工事などを実施しており引き続き計画的に修繕に取り組んでいく姿勢があることが高く評価できます。

(教育局長)

管理経費の節減努力についてはいかがですか。

(子ども教育支援課)

県の積算額に対する節減率が1.2%と低かったのですが、積算は適切に行われており、一般管理費の見直しなど節減努力が認められます。

(教育長)

以上の議論を踏まえて、愛川ふれあいの村の指定管理者候補は、東急コミュニティー・国際自然大学校グループとします。

(教育長)

次に、宮ヶ瀬湖周辺施設について、スポーツ課から説明をお願いします。

(スポーツ課長)

宮ヶ瀬湖周辺施設は、政策局所管の宮ヶ瀬やまなみセンター、環境農政局所管の宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地、教育局所管の宮ヶ瀬湖カヌー場の3施設を一つの募集単位として指定管理者を選定するものです。また、施設の設置目的、設置経緯及び法人その他団体の設立経緯から、指定管理者の選定を、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団への一者指定・非公募により行います。

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、3施設を一体的に運営することにより宮ヶ瀬湖周辺地域全体の活性化につながる提案がなされていること、財政的能力に関し、公益財団法人として健全な運営がなされており、将来にわたっても安定した運営が見込まれることが評価されています。一方、さらに取組を期待する内容として、今後の事業展開にあたっては、これまでの経験を活かし、課題等を意識して臨むこと、広報活動について、利用促進に向けた新たなPR先の発掘に努めてもらいたい、といった意見が出されました。

(教育長)

管理経費の節減等について、説明をしてください。

(スポーツ課長)

公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団は、宮ヶ瀬湖周辺施設との一体的な管理運営と財団が独自に行う事業を組み合わせることを通して、カヌー人口を増加させることにより、宮ヶ瀬湖地域全体の振興を図ることを提案しています。具体的には、カヌー艇等の設備の充実と指導者の確保、カヌー競技者増加に向けた取組、レンタルカヌー事業の実施、大型のレクリエーションカヌーを活用した自然観察会の開催など、仕様以上の取組が含まれています。管理経費の節減等で金額的

な節減は見られませんが、仕様以上のサービスが提案されています。

(教育局長)

カヌー振興にはどのように取り組むのでしょうか。

(スポーツ課長)

財団の費用負担でレクリエーションカヌーを配備するとともに、地元のNPO法人と協働してカヌー指導者を確保します。また、初心者や子ども向けの体験教室から競技カヌーまでのレベルに応じた段階的なカヌー教室を実施します。

(教育長)

以上の議論を踏まえて、宮ヶ瀬湖周辺施設の指定管理者候補は、公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団とします。

(教育長)

他に意見はありませんか。

(参加者一同異議なし)

(教育長)

ないようですので、これで教育局指定管理者選定会議を終了します。

以上